

正誤表

『PT・OT のための運動学テキスト－基礎・実習・臨床』第1版補訂2版 第1刷（2023年1月31日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2025年12月3日

金原出版株式会社

記

頁	訂正箇所	誤	正
104	上から1行目～4行目	<p>肩甲骨の挙上は僧帽筋上部線維、肩甲挙筋、小菱形筋、大菱形筋が行う。僧帽筋上部線維は鎖骨を挙上し、<u>肩甲骨の挙上も肩鎖関節を介して鎖骨を挙上する。</u>肩甲骨の下制は<u>小胸筋、僧帽筋下部線維が行い、</u>広背筋と大胸筋腹部線維は肩甲上腕関節を介して、<u>小胸筋</u>は肩鎖関節を介して肩甲骨を下制する。</p>	<p>肩甲骨の挙上は僧帽筋上部線維、肩甲挙筋、小菱形筋、大菱形筋が行う。僧帽筋上部線維は鎖骨を挙上し、肩鎖関節を介して肩甲骨を挙上する。肩甲骨の下制は僧帽筋下部線維、広背筋、大胸筋腹部線維、鎖骨下筋が行う。広背筋と大胸筋腹部線維は肩甲上腕関節を介して、鎖骨下筋は肩鎖関節を介して肩甲骨を下制する。</p> <p>また、小胸筋は単独では肩甲骨の挙上であるが、僧帽筋下部線維と協働して肩甲骨の下制に働く。</p>

以上